

町政運営の施政方針

令和6年度の施策は、

5つの基本目標から

構成されています。

人が行き交い、
自然と共生する、
笑顔あふれるまちづくり

町道改良舗装
定住促進対策
地域公共交通 など

地域が一体となって
支え合う健やかで
安心なまちづくり

障害者福祉事業
母子保健事業
一時預かり事業補助金 など

地域資源のブランド化と融合により、
新たな活力を創生するまちづくり

かごしまの農業未来創造支援事業
新規就農者育成総合対策事業 など

生きがいと心豊かな人材、
伝統と文化を育む
まちづくり

学校給食費無償化
地区公民館管理
塚崎古墳群整備 など

地域が核となり、
協働型社会を実現する
まちづくり

地域商社設立支援事業
地域支援員設置事業
ふるさと活性化事業 など

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類

へと移行し、本町におきましても、佳子内親王殿下がお成りになられた「高山やぶさめ祭り」や「うちのうら銀河マラソン」、「かごしま国体」など、昨年から多くのイベントが再開され、地域の元気を取り戻す転換期となりました。

一方で、世界各地での紛争や気候変動による自然災害の激甚化・頻発化など、深刻な事態が多発する中、わが国においても今回の震災や相次ぐ豪雨、長引く物価高騰など、日常生活の不安を払拭できない状況が続いています。

このような時代にあつて、岸田首相は今国会の施政方針演説において、「日本経済が新たなステージに移行する明るい兆しが随所に出てきた。『新しい資本主義』を実現し、日本を大きく動かしていく」とし、産業・くらし・エネルギーの各分野での投資を加速する意向を表明。また、日本の宇宙開発技術の躍進に期待を寄せ、「長期的ビジョンをもった国家戦略を策定する」と明言されました。

本町におきましても、教育から医療・農林

水産業・商工業のデジタル化の推進や、宇宙産業の推進に取り組み、地域経済の活性化を図るとともに、人生100年時代、町民のみなさまが安全・安心で、心豊かに暮らせるまちづくりを目指して、町政運営に邁進してまいります。

第2次肝付町総合振興計画における後期基本計画では、「人そして地域活力の創出による『地域力あふれる町』肝付町」を将来像として掲げ、5つの分野ごとの基本目標に基づき、まちづくりに取り組んでまいりました。

令和6年度においても、この5つの基本目標に掲げる基本方針と基本施策を、町民のみなさまと共通の指針として捉え、町政運営に取り組んでまいります。



肝付町長 永野 和行